

ある分数Aがあります。Aの分母と分子を入れ替えた分数をBとして、次のような計算をしました。ただし、BはAより大きいものとします。

- ① AとBを足したものをCとする。
- ② BからAを引いたものをDとする。
- ③ CとDを足したものをEとする。
- ④ CからDを引いたものをFとする。

(1) EとFの積は  です。

(2) Eが5のとき、Aは  です。

[青山学院中]

$$A = \frac{0}{\Delta} \quad B = \frac{\Delta}{0}$$

具体的に  $A = \frac{4}{5}$  とかとしても  
おこなう可...

$$\textcircled{1} A+B = \frac{0 \times 0 + \Delta \times \Delta}{0 \times \Delta} = C \quad (1)$$

$$\textcircled{2} B-A = \frac{\Delta \times \Delta - 0 \times 0}{0 \times \Delta} = D$$

$$\frac{2 \times \Delta}{0} \times \frac{2 \times 0}{\Delta} = 4$$

$$\textcircled{3} C+D = \frac{2 \times \Delta}{0} = E$$

$$\textcircled{4} C-D = \frac{2 \times 0}{\Delta} = F$$

$$(2) \quad \frac{2 \times \Delta}{0} = 5 \quad \text{とすると}$$

$$\frac{\Delta}{0} = \frac{5}{2}$$

よって

$$A = \frac{2}{5}$$